



2 / 5 5・6年生 五平餅づくり交流会 2

小原地区3校の仲間と伝統の味をつなぐ

続いて、炊き上がった米をていねいにつぶします。形を整える作業では、「このくらいかな」「もう少しつぶした方がいいよ」と声を掛け合いながら、協力して作業を進めました。みそだれづくりでは、地域で受け継がれてきた自家製みそのレシピを共有し、砂糖やくるみ、ごまの分量や味の違いを比べながら、「甘めがおいしい」「香ばしい香りがする」と、味の工夫について自然と会話が広がりました。



焼き上がった五平餅に、香り豊かなみそだれを塗ると、教室いっぱいに食欲をそそる香ばしい匂いが広がりました。「自分たちで育てた米だから、いつもよりおいしい」「学校によって米の味が違う（同じミネアサヒという品種ですが・・・）」「みそだれが最高！」と、笑顔いっぱいで五平餅を頬張る子どもたちの姿が印象的でした。



普段はなかなか直接話す機会のない他校の友だちとも、食事を通して自然と打ち解け、楽しそうに会話をすることが見られました。

今回の活動を通して、子どもたちは、地域の伝統食に親しむとともに、米づくりの苦労や食べ物のありがたさ、仲間と協力することの大切さを改めて実感することができました。これからも、地域や学校の枠を越えた交流を大切にしながら、学びを深めていきたいと思います。

